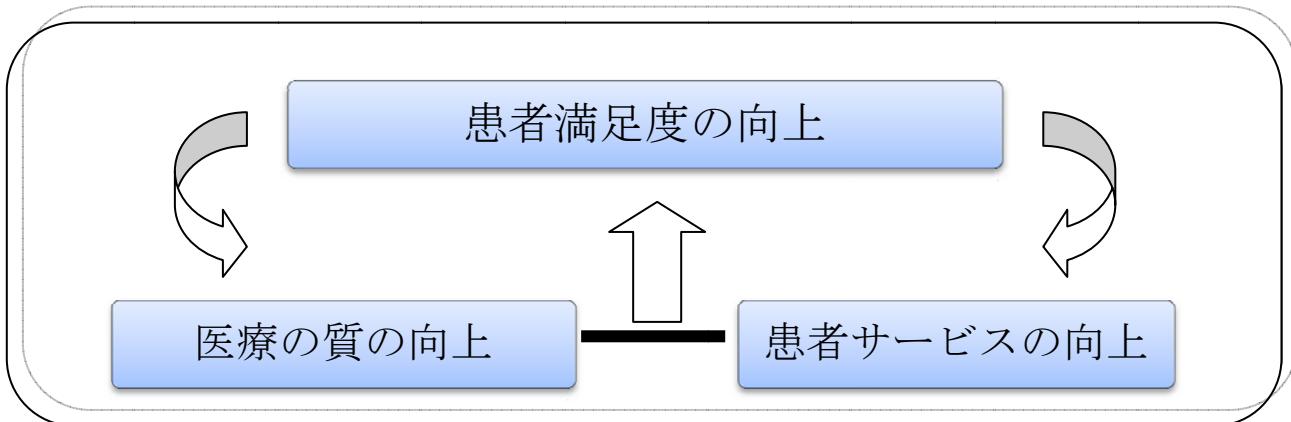


基本方針 1：良質な医療サービスの提供

《患者さんの視点》

1 方針

地域住民の医療ニーズに的確に対応しながら、『質の高い医療サービスの提供』と『安らぎのある落ち着いた医療環境を提供できる患者サービスの向上』を通じ、患者さんの満足度の向上を図る。



2 共通目標と重点取組事項

目標 1

・医療の質の向上

[政策医療や予防医療の充実]

民間医療機関等では対応が困難なへき地医療や精神・感染症医療等政策医療を安定して提供するとともに、保健・医療・福祉の連携により、県医療計画に定める4疾病5事業※や生活習慣病対策などの予防医療等の充実を図る。

※ 4疾病5事業：4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）5事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）

[病院活性化による医療の質的向上]

全スタッフが一丸となって「NST（栄養サポートチーム）」に代表される医師とコメディカルスタッフとの連携したチーム医療に取り組むとともに、病院内部の様々な委員会の活性化を図ることで、医療の質を確保する。

[病院機能評価の取得]

病院機能評価の取得を通じて、病院機能の向上を図るとともに、患者さんの権利や安全・安心を確保するための体制整備を行う。

[説明責任の発揮]

患者さんとの信頼関係を構築するため、治療内容等について十分に説明を行い、患者さんの意見を尊重しながら同意を得た上で治療を実施するインフォームド・コンセントの充実を図る。

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆病院機能評価の認証更新 医療の質の向上と信頼の確立を目的として、財団法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で医療機関の機能を評価・審査する病院機能評価の認定更新を図る。	【見直】 更新 矢吹病院	【見直】 更新 南会津病院	【見直】 更新 宮下病院
	◆インフォームド・コンセントの充実 良質な医療の提供を図るため、患者さんに対する的確な診断と治療はもとより、診断内容、治療計画さらには副作用やリスク等を含めて十分説明し、患者さんが理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆訪問看護の充実検討 今後とも新規退院患者などへのきめ細かな訪問看護を実施する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆デイケア（社会復帰訓練）の充実検討 料理や手芸、スポーツ、季節ごとの行事などのプログラムなどを行うなど、デイケアの充実強化を図る。	【見直】 検討 実施	【継続】	【継続】
	◆心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての指定検討 触法精神障害者の専門的入院治療と社会復帰を支援する医療体制の充実に向けて検討する。	【新規】 検討開始	【継続】	【継続】
喜多方病院	◆受診枠の拡大による健康診断及び人間ドック充実 地域の要望に対応するため、1日当たりの受診枠を拡大して、健康診断・人間ドック事業を充実する。	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆電子カルテシステム導入による医療の質の向上 患者さんに対する画面上での説明や待ち時間の短縮による患者サービスの向上のほか、データベースに蓄積された診療情報を症例研究に活用することで、質の高い医療を提供する。	【新規】 21年3月 稼働	【継続】	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
会津総合病院	<p>◆チーム医療の推進</p> <p>医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師などが一体となり、多職種で各疾患治療に応じた栄養管理を適切に実施するNST（栄養サポートチーム）の充実を図るなど、チーム医療の推進を図る。</p>	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院	<p>◆診療圏域内唯一の病院として質の高い安定的な医療の提供</p> <p>地域の方々が安全に安心して暮らしていくよう、診療圏域内唯一の病院として、常勤医師の確保・定着に向けた取組みを強化していくとともに、県立医科大学や会津総合病院等との連携を強化しながら、高齢化が急速に進展する地域特性に対応した医療を継続して提供する。</p>	【継続】	【継続】	【継続】
	<p>◆訪問診療・訪問看護による在宅医療への支援</p> <p>地域の保健・医療・福祉関係機関との連携を強化しながら、訪問診療・訪問看護の充実を図り、在宅医療への支援を強化する。</p>	【継続】	【見直】 実施回数 増	【継続】
	<p>◆健康診断・人間ドック事業の充実</p> <p>健康診断を担当する内科医師を配置するとともに、受診項目の充実や料金体系の見直しを行い、健康診断・人間ドック事業の拡充を図る。</p>	【見直】 料金体系	【見直】 受診枠拡大	【継続】
南会津病院	<p>◆透析機器の増設による透析機能の強化</p> <p>透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。</p>	【新規】 5台増設	【見直】 検討	【継続】
	<p>◆健康診断・人間ドック事業の充実</p> <p>地域の要望に対応するため、平成20年度より開始した人間ドックの受診枠を拡大して充実を図る。</p>	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】
大野病院	<p>◆内科医師の確保による健康診断事業の充実</p> <p>特定検診・特定保健指導や地域のニーズに対応できる健康診断事業の実施・充実に努める。</p>	【継続】	【継続】	【継続】

・患者サービスの向上

[実践的な接遇能力向上]

患者さんの立場を考えて行動することができる心ある職員となることを目指し、患者さんを尊重した言葉遣いや応待を実践するロールプレイなどの実践的な学習方法などを取り入れた接遇研修会を定期的に開催し、職員の接遇能力の向上を図る。

[病院全体の業務改善]

患者さんに良質なサービスを提供できるよう、待ち時間の短縮を始めとする業務改善に職員が一丸となって取り組む。

○ 共通目標

患者満足度調査での満足感
↗

21年度目標値
76%以上

22年度目標値
80%以上

23年度目標値
85%以上

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆患者アンケート調査や接遇向上委員会による接遇の向上 患者アンケート調査やご意見箱の設置などにより、患者さんのニーズや意見を把握できる体制を整えるとともに、定期的に接遇向上委員会を開催し、接遇技術の向上を図るために研修会やロールプレイ等の学習会を企画するなど、患者さんの立場に立った接遇サービスの向上を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆外来待ち時間の短縮 外来予約システムの見直しを行うことで、予約診療の充実・拡充を図るとともに、外来待ち時間の短縮を推進し、患者さんが満足できる医療の提供に努める。			
喜多方病院	◆送迎バスの運行検討 会津統合病院（仮称）への移行準備や患者サービスの充実を図るため、送迎バスの運行を検討する。	【新規】 検討	【継続】 検討	【継続】 検討

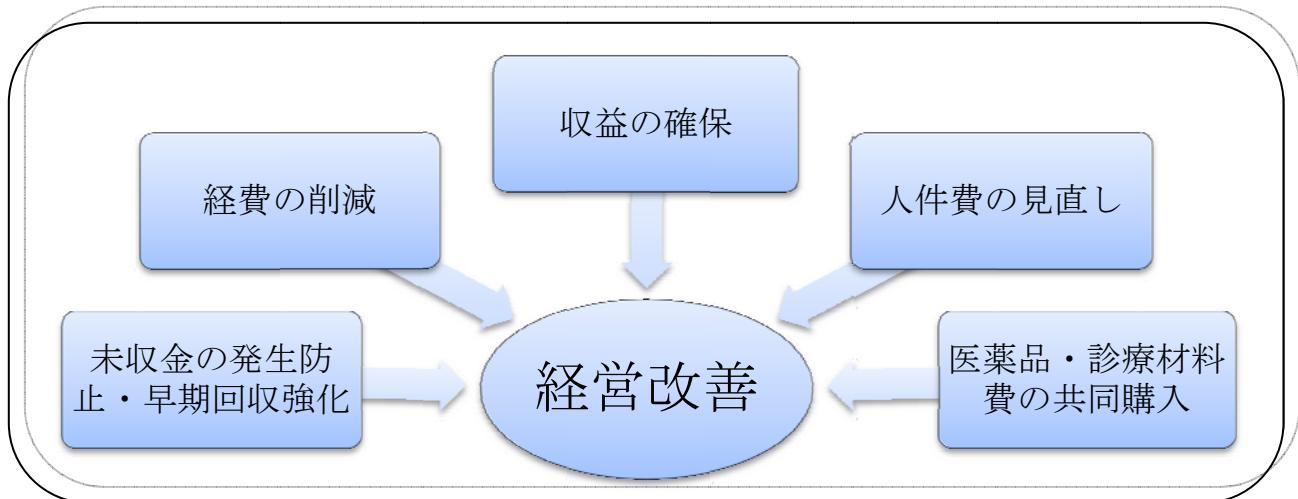
取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
宮下病院	◆無料送迎バスの効率的な運行 外来患者の利便性の向上を図るため、無料送迎バスの効率的な運行に努める。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆院内イベントの開催 入院患者や当院に来院者が快適で安らぎのある時を過ごしていただけるよう、四季折々の飾り付けを行うとともに、院内コンサートを開催するなど、「癒しのある空間」の提供に努める。	【継続】	【継続】	【継続】

基本方針2：収益確保と費用削減による健全な病院経営

《健全な病院経営の視点》

1 方針

良質で安全な医療を継続的に提供していくためには、健全な病院経営の確立が前提であることから、医師確保をはじめ、経営基盤の確立に向けた多様な取組みを行う。



2 共通目標と重点取組事項

目標 1

・収益の確保

[医療機能の充実]

医師確保による医療機能の充実を図るとともに、適切な施設基準の取得や診療報酬請求漏れの防止、査定率減少に取り組む。

患者数の増加を図るため、健康診断の充実や特定保健指導の取組みを通じて、生活習慣病対策など予防医療に力を入れるとともに、透析などの特殊外来や訪問診療・訪問看護の充実に取り組む。

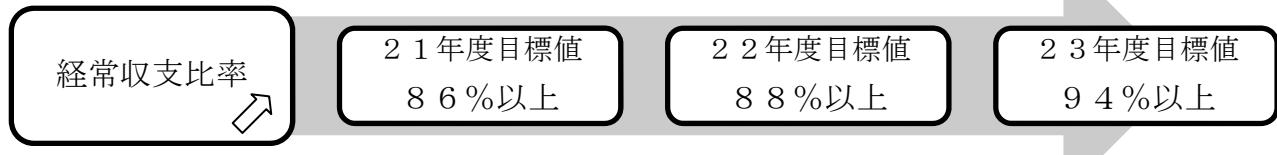
[先進医療機器の導入]

質の高い医療の提供や収益確保を図るため、計画的に先進医療機器の導入を行う。

[外部意見の導入]

多様な取組みにより経営基盤の確立を図るため、病院経営の専門家など外部の方の意見を積極的に取り入れる。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆常勤医師の確保 関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保することで、安定的な診療体制の確立を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆看護補助加算1の算定 看護補助加算1の算定を開始し、より高い入院基本料等加算の取得により、収益増を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆外来患者に対する精神科作業療法の実施 精神科作業療法については、入院患者を対象に実施しているが、今後、外来患者のニーズを把握し、外来部門とOT部門の連携方法等の具体策について検討する。	【新規】 検討 実施	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆コメディカルスタッフの確保 リハビリテーションに関する施設基準への対応を図るために、コメディカルスタッフ(OT(作業療法士)・PT(理学療法士))の確保を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆DPC・電子カルテ・クリニカルパスの有効活用等による入院収益の増 疾病ごとの入院収入と投下医療資源についての管理を強化し、収益増を図るために、電子カルテ機能を十分に活用するとともに、クリニカルパスの作成見直しを行う。	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院	◆診療科目の充実 診療科目の充実を図るなど、県立医科大学や会津総合病院等との連携を強化しながら、県内で高齢化率が一番高い地域の特性に的確に対応した医療を提供する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆訪問診療の充実による外来患者の確保 訪問診療等の充実により、患者サービスの向上や外来患者の確保を図る。	【継続】	【見直】 回数増	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
宮下病院	◆無料送迎バスの効率的な運行（再掲） 外来患者の利便性向上や収益増に向けて、無料送迎バスの効率的な運行を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆DPC病院への移行による収益の確保 DPC（包括支払制度）病院への移行に向けて、引き続きDPC準備病院としてデータの収集等を行う。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆透析機器の増設による透析機能の強化（再掲） 透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。	【新規】 5台増設	【見直】 検討	【継続】
大野病院	◆薬剤管理指導の効率的な実施 収益の確保を図るために、薬剤管理指導を効率的に実施する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆亜急性期入院医療管理料の導入 新たな収入の確保を図るために、急性期治療を経過した患者に対し、在宅復帰支援に向けた亜急性期病床を設置する。	【新規】 実施	【継続】	【継続】
病院局	◆県立病院収益確保対策プロジェクトの実施 平成22年度診療報酬制度改革改定やDPC導入への対応、地域連携の強化による患者確保などに向けた対策を講じるため、経営改善に向けて組織されている病院経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、具体的に取り組む。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆未利用財産の売却 病院事業財産を活用することにより収益確保を図るために、公舎跡地等未利用財産の売却を進める。	【新規】 検討 実施	【継続】 検討 実施	【継続】
	◆外部意見による経営評価 県立病院事業の経営改善に向けた取組状況について、有識者で構成される第三者機関である県立病院経営評価委員会の評価を受けるなど、多様な意見を取り入れながら一層の経営健全化を図る。	【見直】 検討 実施	【継続】	【継続】

・未収金の発生防止と早期回収の強化

[医療相談の実施]

新たな未収金発生の抑制を図るため、高額療養費制度などの周知徹底や医療費に関する面談を行うなど、全職員の共通認識の下で医療相談を積極的に実施する。

[未収金マニュアルの活用]

喫緊の課題である未収金残高の削減に向けて、県立病院医業未収金マニュアルを活用し、新たな未収金発生を防止するとともに、現存する未収金の早期回収に努める。

[効果的な未収金対策の推進]

未収金回収については、電話や文書での督促、自宅訪問などを継続的な実施により、早期回収に向けた効果的な対策を推進する。

○ 共通目標

過年度未収金
残高

21年度目標値
93百万円

22年度目標値
90百万円

23年度目標値
88百万円

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	<p>◆未収金の発生防止と早期回収の強化</p> <p>医療相談室等と連携しながら、未収金となるおそれのある患者に早期に接触し未収金の発生を防止する。</p> <p>未収金については、定期的に文書による納付依頼や督促、電話や訪問による納付交渉等を行い早期回収に努める。</p>	【見直】 強化	【見直】 強化	【見直】 強化
病院局	<p>◆未収金担当者会議の開催</p> <p>実務者レベルの会議を定期的に開催し、実効性のある効果的な滞納防止策や回収策を検討し、各病院の共通的な取組みとして実施する。</p>	【継続】	【継続】	【継続】

・費用の見直し

[人件費の抑制]

更なる総人件費の抑制を図るため、給与費の抑制や、病棟・病床数の見直し、業務の効率化による職員配置の適正化、委託の推進などに取り組む。

[診療材料・医薬品の費用削減]

更なる材料費の削減を図るため、平成20年度に導入した新型SPDにより、医薬品・診療材料費の共同購入や適正管理を徹底する。

[日常的な経費節減]

日常的な経費の削減を図るため、光熱水費の更なる節減や価格変動に応じた契約単価の見直しによる燃料費の削減、委託業務における業務内容の見直しなどを行う。

○ 共通目標

職員給与費対
医業収益比率
(一般病院) ↘

21年度目標値
97%以下

22年度目標値
92%以下

23年度目標値
87%以下

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆業務委託内容の見直しによる委託費削減 委託業務の契約内容等についてゼロベースで見直しを行うとともに、入札方式や複数年契約の検討、医療機器の調達における保守管理を考えた契約実施などにより、委託費用の削減に取り組む。	【見直】 強化	【見直】 強化	【見直】 強化
	◆消耗品費や光熱水費等の削減 消耗品や光熱水費等の経費削減を図るため、職員の意識改革を進める。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆新型SPDによる医薬品費等の削減 材料費の削減を図るため、平成20年度に導入した新型SPDにより、医薬品・診療材料費の共同購入や適正管理を徹底する。	【継続】	【継続】	【継続】

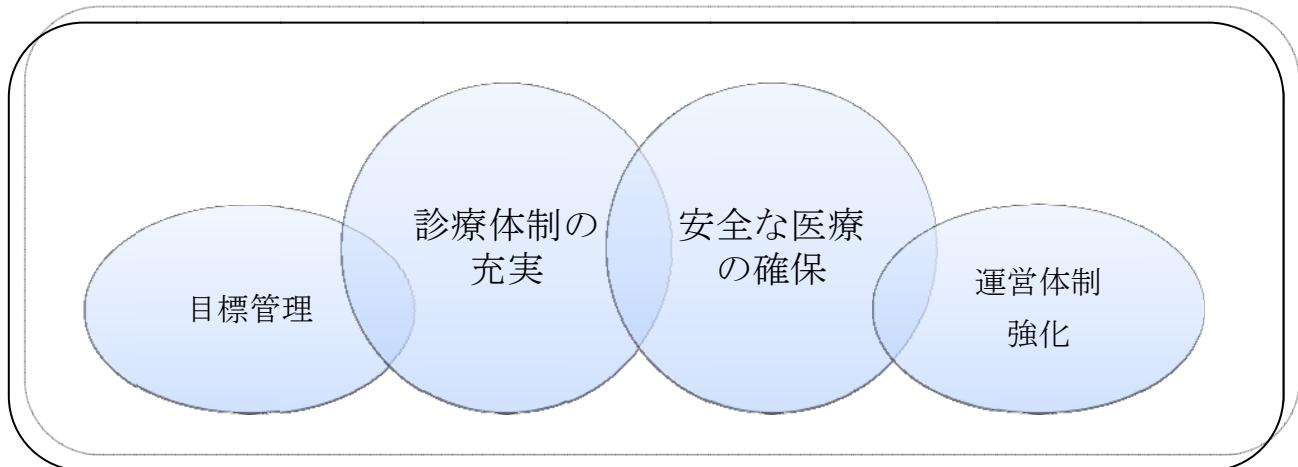
取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
喜多方病院	◆病棟再編の実施 診療圏の人口動向や今後の患者数見込み等を考慮し、病棟再編を実施する。	【新規】 病棟削減		
宮下病院 南会津病院	◆病床削減の実施 診療圏の人口動向や今後の患者数見込み等を考慮し、病床数の削減を実施する。	【新規】 病床削減		
病院局	◆総人件費の抑制 更なる総人件費の抑制を図るため、給与費の抑制や、病棟・病床数の見直し、業務の効率化による職員配置の適正化、委託の推進などに取り組む。	【見直】 強化	【見直】 強化	【見直】 強化

基本方針3：医療提供体制の充実強化

《病院の体制整備の視点》

1 方針

地域住民に安全で安心な医療を提供し、信頼される病院を目指していくため、これから県立病院を担う専門的な知識を持った医師の確保・育成、診療体制の充実を図るとともに、医療安全対策の一層の強化を図る。



2 共通目標と重点取組事項

目標1

・診療体制及び経営基盤の強化

[医師確保等の充実強化]

県立医科大学等との連携や医師紹介事業者の活用、公募による医師確保策の充実強化を図るとともに、医師の給与の見直しや勤務環境の改善などの待遇改善を行い、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。

また、医師確保緊急対策プログラム※に基づき、医師確保に取り組む。

※県の地域医療対策協議会で検討され、平成21年度から実施

[医療の質と調和した経営改善]

「医療の質」、「経営の質」の両面においてバランスがとれた病院経営を進めるため、5つの視点（患者さんの視点・健全な病院経営の視点・病院の体制整備の視点・人材育成の視点・地域連携の視点）に沿った基本方針に基づく経営改革を実施する。

○ 共通目標

常勤医師数



21年度目標値

57人

22年度目標値

67人

23年度目標値

71人

*H23年度の医師数は、大野病院を除くと60人

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆常勤医師の確保（再掲） 安定的な診療体制の確立を図るため、関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保する。	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	◆臨床研修医の受入 指導体制の充実を図りながら、臨床研修病院として研修医の受入を行い、プライマリケアに主眼を置いた研修プログラムを実施し、総合的な診療能力を持つ医師を養成する。	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院	◆臨床研修医や実習生の受入 宮下病院等後援会からの支援を受けながら、県立医科大学や会津総合病院との連携の下、協力型臨床研修病院として臨床研修医師を積極的に受け入れるとともに、家庭医プログラムに基づく実習生の受入体制を強化する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆自治医科大学福島県人会夏期研修等の受入 自治医科大学福島県人会のへき地医療体験研修を積極的に支援することで、本県出身の医学部生への将来的なへき地医療従事の動機付けとなることを目指す。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆研修病院としての役割 県立医科大学や自治医科大学等との連携の下、臨床研修病院（協力型）として臨床研修医師や家庭医プログラムに基づく実習生等の受入体制の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	◆医科大学との連携による医師確保の強化 県立医科大学や自治医科大学等との連携強化、近隣県や東京都内の医科大学への医師派遣依頼などにより、医師確保対策の強化を図る。 また、県の医師確保緊急対策プログラムに基づき、医師確保を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
病院局	◆公募による医師確保 医師紹介事業者の活用、インターネットを始め様々な広報媒体の活用、本県に興味を持っている県外在住者へのPR等、公募による医師確保対策の強化を図る。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆医師の待遇改善 県立病院に勤務する医師について、給与の見直し、医療事務作業補助者の配置などによる勤務負担の軽減、研修制度の充実など待遇改善を図り、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実
	◆中長期的な医師確保 将来に向けた医師の確保を図るために、医学部生への修学資金の貸与、臨床研修医の受け入れなどを行う。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆目標管理の実施 5つの視点に沿った基本方針を踏まえ、良質な医療の提供と健全な病院経営の実現に向けた取組みを実施していくとともに、定期的に取組みの進捗状況や課題の検討などを行う。	【継続】	【継続】	【継続】

目標2

・医療安全対策の強化

[不断の意識啓発]

医療の安全性を高め、患者さんにより信頼される病院となるため、職員全員の医療事故防止に向けた一層の意識啓発と病院全体の危機管理を不斷に取り組む。

[組織的な体制整備]

医療安全を総合的に推進する医療安全担当の配置、医療事故防止マニュアルの不断の見直し、医療事故防止対策委員会で医療事故の発生防止対策の検討、医療事故防止に関する研修会の定期的な開催など、医療安全対策に病院全体で組織的に取り組み、安全な医療の確保を図る。

[マニュアルの周知徹底]

危機発生時に迅速かつ的確な対応が図られるよう、普段から研修会等において、医療事故防止マニュアルの周知徹底に努める。

○ 共通目標

医療安全研修 参加率	21年度目標値 85%以上	22年度目標値 90%以上	23年度目標値 90%以上
---------------	------------------	------------------	------------------

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	<p>◆専任の医療安全担当による管理体制の強化や研修会の開催等による安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○専任の医療安全担当を配置する。 ○医療安全対策委員会等の活動を強化して、医療事故防止や院内感染防止に関する情報の収集やアクシデント・インシデント事例の検証等を行う。 ○定期的に医療事故防止のための研修会を開催し、マニュアルの見直しや改善事項等について職員への指示を徹底するなど、医療の安全確保に総合的かつ組織的に取り組む。 	【継続】	【継続】	【継続】
会津総合病院	<p>◆オーダリングシステム・電子カルテシステムの導入による安全・安心な医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> システムによる禁忌投薬等の防止やバーコードチェックによる患者誤認の防止など、安全安心な医療の提供を行う。 	【新規】 21年3月 稼働	【継続】	【継続】
病院局	<p>◆医療安全対策プロジェクトチームの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院の医療安全担当責任者で構成される医療安全対策プロジェクトチームを定期的に開催し、一層の安全な医療の提供を図るため、リスク情報収集や調査分析を行うなど、医療事故防止対策の強化に組織的に取り組む。 	【継続】	【継続】	【継続】

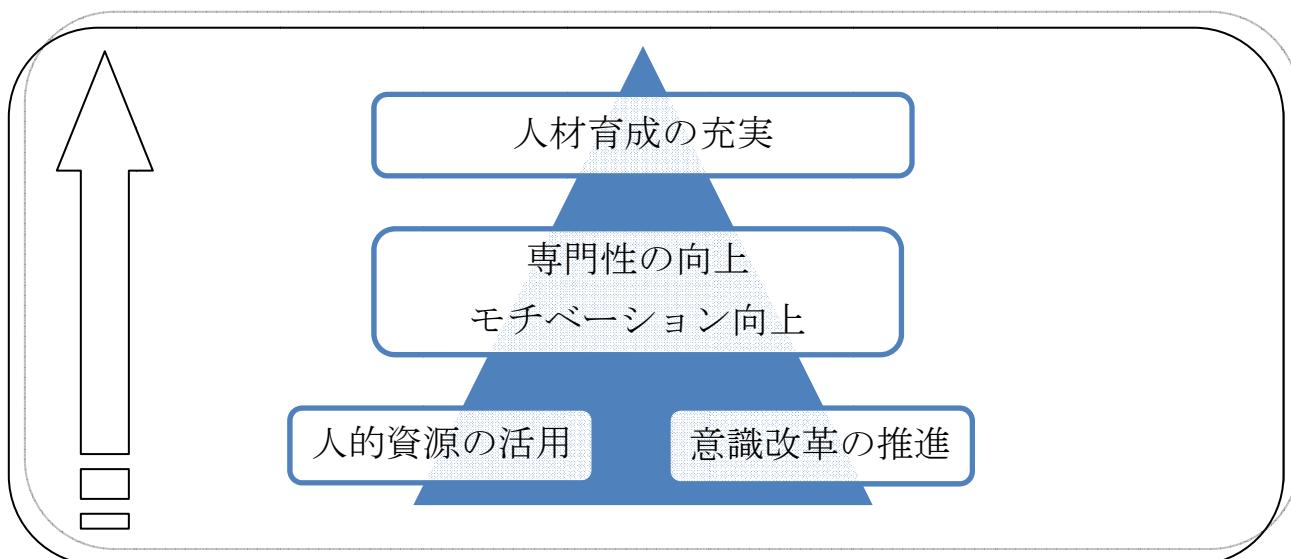
基本方針4：職員の資質向上と人材育成

《人材の育成の視点》

1 方針

地域住民に良質な医療サービスを提供するという基本姿勢に立ち、部門間の連携や積極的な対話をすすめ、コミュニケーション能力の向上を図りながら、職員の経営参加に対する意識の向上、職場の活性化、組織風土の改善を図る。

また、院内外の人的資源を有効に活用しながら、次世代を担う職員や核となるリーダーの育成、職員の専門性向上への支援を実施する。



2 共通目標と重点取組事項

目標1

・人材の育成と確保

[人材の積極的活用]

組織の活性化や職員のモチベーションの向上を図るために、人的資源としての院内の優秀な人材の積極的な活用を図る。

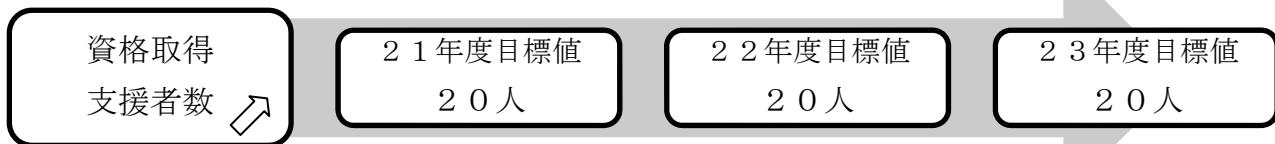
[リーダー育成]

地域住民から信頼される病院となるため、職員の育成を図るとともに、核となるリーダーの育成に努める。

[資質向上の環境づくり]

各種研修会や学会等への参加機会の拡充や教育体制の充実などにより、全体の水準向上を図るとともに、資質向上に取り組める環境づくりに努める。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆各専門分野のスペシャリストの育成 病院内の組織の活性化と職員のモチベーションの向上を図るため、業務推進に当たってのリーダーを育成するとともに、職員の資質向上を図ることを目的に、医療スタッフの専門的で高度な知識や技能の習得を計画的に進める。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆人材育成のための各種研修会への参加や院内教育の充実 職員の資質向上と組織全体の活性化のため、各種研修会や学会等への参加機会の拡充を図るとともに、病院内における職員教育・研修計画に基づき各種研修会等を定期的に開催する。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆県立医大看護学部企画の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の積極的参加 職員の資質向上に取り組む環境づくりを進めるため、地域ケアに必要な知識・技術の習得や事例検討、実践によって、長期在院精神疾患者に対する看護のレベルアップを目指す「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」への参加を促進する。	【継続】	【継続】	
会津総合病院	◆既取得資格の更新に係る支援検討 病院経営上有益な資格を既に有する者に対して、その資格更新に係る経費の支援を検討する。	【新規】 検討 実施	【継続】	【継続】
病院局	◆資格取得支援 専門的な知識と技能を持った職員の育成を図るため、全職種で資格取得等のスキルアップの支援体制を確立する。	【見直】 体制整備	【継続】	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
病院局	◆民間実務経験者の採用 これまで培った豊富な経験や専門知識を活用しながら、県立病院の経営改善を図るために、病院経営の管理・監督、企画立案、医療事務等の能力を備えた民間実務経験者を採用する。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆経営感覚を持った職員の育成 経営感覚を持った職員の育成を図るために、初任者研修会や部門横断的な研修会等でワークショップを開催し、各職員が主体的に業務の問題点を洗い出すとともに、解決策を見いだしていく。	【新規】 開催	【見直】 充実	【見直】 充実

目標2

・職員の意識改革

[病院経営研修会の開催]

職員一人一人の経営に対する意識改革を図るために、職員が病院経営に主体的に参加することが重要なことから、経営改善に関わる病院経営研修会を開催する。

[職員満足度調査の実施]

職員のモチベーションの向上を図るために、満足度調査を行い、問題点を把握し改善を行うことで、働きがいを感じる良好な職場環境づくりに努める。

○ 共通目標

職員提案件数



21年度目標値

140件以上

22年度目標値

155件以上

23年度目標値

165件以上

*H23年度の提案件数は、大野病院を除くと140件

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	<p>◆職員提案制度の実施</p> <p>職員の病院経営への参加意識の向上を図るために、患者サービスの向上や業務の効率化、経費の削減・収益の向上に向けた職員提案制度を充実する。</p>	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	<p>◆病院経営セミナーの開催</p> <p>職員一人一人の病院運営への主体的参加の意識を促すため、医療を取り巻く環境について、各病院職員に周知するセミナーの実施などにより、病院経営の情報の共有化を図る。</p>	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

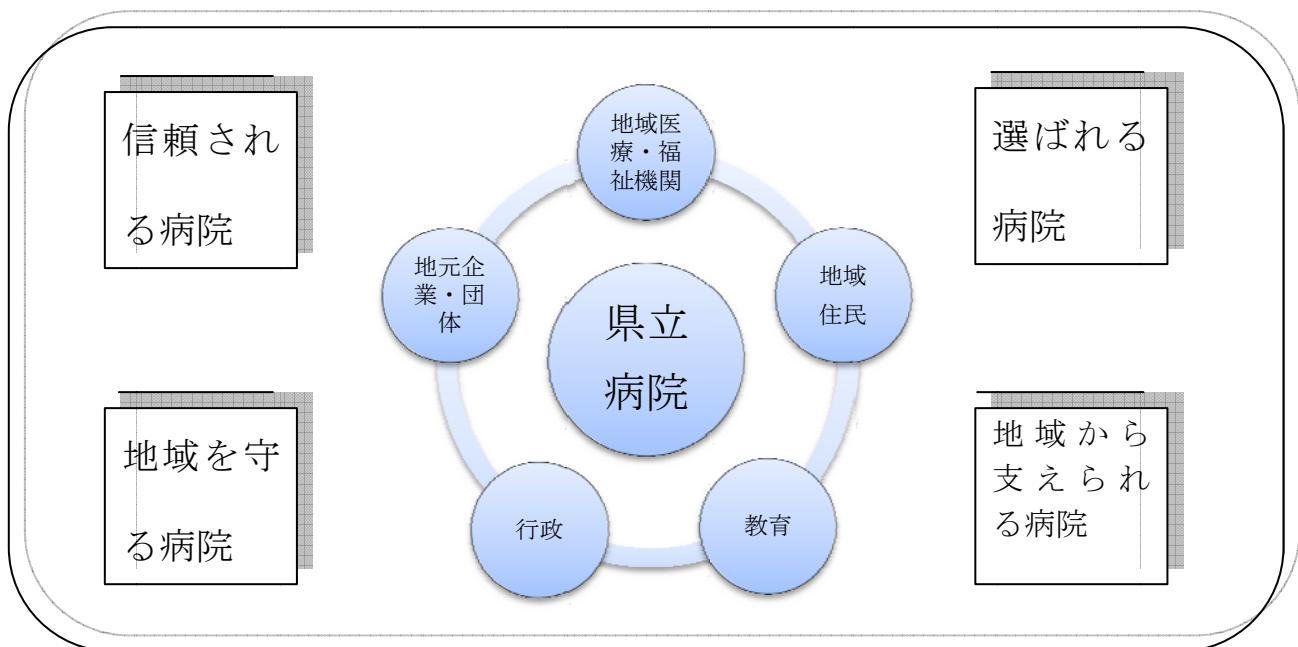
基本方針5：地域との連携・共生

《地域連携の視点》

1 方針

地域のニーズに対応した質の高い医療の提供や収益確保のため、各地域の医療機関や介護福祉施設等との役割分担を図りながら、連携を一層強化していく。

また、地域に親しまれる病院を目指して、地元市町村をはじめとする保健・医療・福祉等の行政機関や各種企業・団体との連携を強化し、地域住民との交流や連携事業を積極的に行う。



2 共通目標と重点取組事項

目標 1

・地域医療機関等との連携

[紹介率の向上]

紹介率を向上させながら患者数の増加を図るために、地域の医療機関等との機能分担や訪問を通じての顔の見える連携を積極的に進める。

[社会復帰に向けた体制整備]

患者さんを地域全体でサポートしていくため、医療機関や保健・介護福祉施設、行政機関との連携を強化し、患者さんが適切な治療を受け早期の社会復帰を果たせるような体制整備を図る。

[医師派遣等による支援機能発揮]

へき地医療拠点病院として、国保診療所や介護保健施設への医師派遣による診療応援を実施するなど、地域の病院等との相互協力・支援の取組みを充実する。

[地域生活移行に向けた体制整備]

患者さんの地域生活移行に向けた体制の充実を図るため、ボランティアによる地域住民との交流やグループホームなどとの連携を強化する。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆地域の医療機関、介護施設、訪問看護ステーション等との連携強化 地域の医療機関や保健・介護福祉施設と連携を強化し、新規患者数の増加を図るとともに、退院支援体制を構築する。	【継続】	【継続】	【継続】
矢吹病院	◆地域生活移行へ向けた支援体制の強化 地域医療担当部門を設置し、地域との連携や患者の地域生活移行への支援体制の強化を図る。	【新規】 検討	【継続】	【継続】
	◆患者のグループホームへの円滑な移行 「入院医療中心から地域生活中心へ」という精神保健医療福祉改革ビジョンの基本的な考え方を踏まえ、長期の社会的入院患者の退院、社会復帰を促進するため、関係機関との連携を強化しながら、患者のグループホームへの円滑な移行支援を行う。 また、こうした取組みにより平均在院日数の短縮を図る。	【継続】	【継続】	【継続】

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
矢吹病院	<p>◆県立医大看護学部との共同研究実施による患者の地域生活移行に向けた活動の強化</p> <p>県立医科大学看護学部との共同研究では、入院患者を三群に分類し、社会復帰支援に向けたアプローチを行っているが、今後、リハビリーション組織の在り方や会議の定期開催数などの見直しを図る。</p>	【見直】 検討開始	【見直】 実施	【継続】
会津総合病院	<p>◆へき地医療拠点センター病院としての支援</p> <p>喜多方病院、宮下病院、南会津病院へ診療応援を実施することで、へき地医療拠点センター病院としての役割を果たす。</p>	【継続】	【継続】	【継続】
宮下病院 南会津病院	<p>◆国保診療所への診療応援</p> <p>常勤医師の確保・定着を図り、地域の国保診療所へ医師を派遣するなど、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。</p>	【継続】	【継続】	【継続】
病院局	<p>◆地域連携の取組に対する各病院への支援</p> <p>各病院と連携を図りながら、地域連携の取組みへの支援を行う。</p>	【継続】	【継続】	【継続】
	<p>◆県立病院収益確保対策プロジェクトの実施(再掲)</p> <p>平成22年度診療報酬制度改定や、DPC導入への対応、地域連携の強化による患者確保などに向けた対策を講じるため、経営改善に向けて組織されている病院経営検討会に、実務担当者レベルのメンバーを加え発展させ、定期的に部門横断的な検討を行い、具体的に取り組む。</p>	【見直】 充実	【見直】 充実	【見直】 充実

[効果的な情報発信]

地域に親しまれる病院となるため、院外広報誌の発行等を通じて医療に関する情報や院内活動などの情報発信に取り組む。

[出前講座等の実施]

地域に信頼される病院を目指し、行政や団体機関等における講演会等への講師派遣、各県立病院が主催する研修会や出前講座などのイベントなど、職員が積極的に地域に出向いた活動を行う。

○重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆ホームページの充実と院外広報誌の発行 医療に関する情報や院内活動等を地域に幅広く伝えるため、ホームページの充実や院外広報誌の発行を通じて、情報発信機能の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆イベントの開催による地域住民との交流促進 健康講座や音楽コンサート等の開催、地元市町村等が主催する医療講演会等への職員派遣などにより、病院の持つ専門的な知識や最新情報を提供し、地域の方々の医療に関する理解促進と普及啓発を図る。	【継続】	【継続】	【継続】